

Harbor Project 原案コンセプトペーパー

Original Concept by: 縁 (Enishi)

Version 1.1

Released under CC BY 4.0 (Attribution Required)

Harbor Project : 性被害と冤罪、どちらの孤独にも寄り添う証拠インフラの構想

はじめに

性被害は語りにくい。

冤罪は反論しにくい。

そしてどちらの孤独も深い沈黙に沈む。

社会はこの二つを対立構造として扱いがちだが、被害者にも冤罪被害者にも共通するのは、

- ・言えない
- ・証明できない
- ・抱え込む

という構造的な沈黙である。

Harbor Project は、この沈黙を責めない。

ただ“寄港できる光”を一つ増やすだけの、非対立型の証拠保全インフラ構想である。

課題整理

- ・性被害は証拠保全の困難さにより声が届かない
- ・冤罪は反証手段が乏しく人生を破壊する

- ・どちらも「物証」が必要なのに、保全システムが存在しない

提案：匿名で即時入手できる証拠保全キット

1. 内容物

- ・密閉型マイクロ採取カプセル
- ・微量採取用綿棒
- ・pH保持シート
- ・シリアル番号なし封印袋
- ・乾燥剤（常温保存）
- ・絵だけの使用説明カード

2. コスト（1キット 40～70円）

大量生産で30円台も可能。

ナップキンより安価で全国設置可能。

3. 法医学的価値

- ・DNAは半年以上保存可能
- ・封印袋が改ざん防止
- ・匿名保持のまま証拠能力を担保

4. 使用の流れ

1. コンビニ個室で匿名入手
2. 不安・被害時に使用
3. 封印し自宅保管
4. 必要時に提出／破棄を選択

男女双方のケースに対応。

5. 匿名性

- ・袋は無地
- ・カメラの死角配置
- ・個人番号なし
- ・持ち出し記録なし

ロゴ草案（コンセプト）

抽象度・高：線の灯台 + 左右の光

中庸性と普遍性を象徴。

抽象度・中：灯台 + 水平線

文化圏をまたいで伝わりやすい。

抽象度・低：灯台 + 海 + 光扇

CSR企業が採用しやすい視覚構造。

象徴とデザイン哲学

灯台（白）= 安心と潔白

海（青）= 包容と透明性

左右の光 = 被害者と冤罪被害者、両方を照らす光

理念の核：中庸性

Harbor Project は、

被害者のためだけでもなく、

冤罪被害者のためだけでもなく、

加害者のためでもない。

沈黙の中で孤立するすべての人のために光を置くだけ。

English Section

Title:

Harbor Project: A Non-Adversarial Evidence Infrastructure for Both Survivors and the Falsely Accused

Introduction:

Sexual violence leads to silence.

False accusations create another silence.

Both lack voice, proof, and a safe harbor.

Kit Proposal:

- Anonymous preservation kits
- Convenience stores / pharmacies
- Swabs, micro capsules, seal bags
- Low-cost, high-impact, legally valid

Logo Concepts:

- Minimal lighthouse

- Lighthouse + horizon
- Lighthouse + sea + light fans

Philosophy:

A safe harbor for silent pain.

A clear harbor for misunderstood truth.

Credits:

Original Concept: 縁 (Enishi)

Released under CC BY 4.0 (Attribution Required)